

~ 歴史・民俗 ~

☆ 石馬

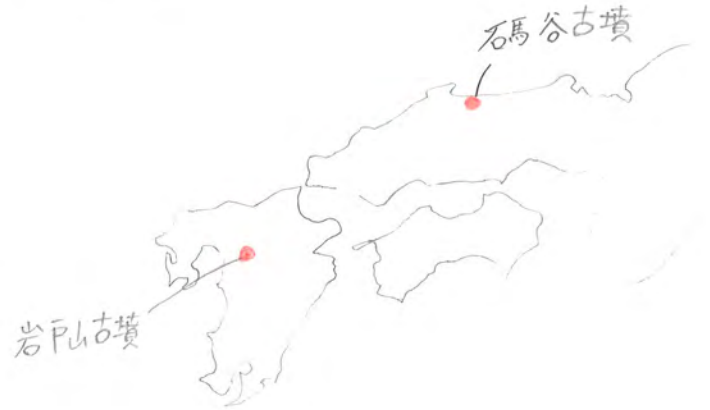


米子市淀江町福岡の石馬谷古墳にあつたとされる。

全長約150cm、高さ約90cmで、馬具と装着した様子が表現されている。

石製の馬は福岡県岩戸山古墳で見つかった類例があるのみで貴重である。

そのため、九州との交流を示す資料といえる。



☆ 稲扱千刃



収穫した稲穂から籾粒をしごき取る脱穀道具。

「伯州」、「産物」、「倉吉八島製」といった印がある。

倉吉地方はたたら製鉄などで全国有数の産地であった。

☆ おかしの暮らし



約150年前の鳥取県の一般的な農家の暮らしが復元されている。

居間が広く取られている「広間型」というつくりになっている。

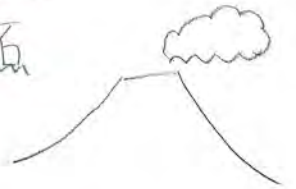
むかしの家のつくりや、暮らしの様子がくわしく再現されている。

鳥取県立博物館の自然部門

地学の展示

1. 鳥取県、大地のおいたちを物語る標本
2. 昔、日本で生きていた動物や植物の化石
3. 鳥取県内の貴重な地学資料
4. 地球の歴史を語るためには欠かせない 貴重な化石
5. 国内で産物される 代表的な鉱物

など.....



生物の展示

1. 鳥取県の自然を特徴づける 動植物の標本
2. 鳥取砂丘や大山にさむ 動植物
3. 絶滅危惧種の動植物などの 貴重な標本



など.....

<ポイント>

- ・上の2つの展示は、書くための勉強がいやな方に オススメ!!
教科書と対応している所があるため 直接自分で身近に
感じてみるのもいいかも!!

普及活動

- ・野外観察会 & 自然講座
- ・サイエンスレクチャー
- ・館内授業
- ・移動博物館
- ・学芸員派遣

「これらの活動を行っているので」
「ぜひ参加してみてください!!」

土方稻嶺 X 辻 晋堂

一心同体のすがた

右の作品は、二人の人物

をモチーフとした作のびある

ヘアとなつて表されることの多い

彼らは二人びひとつの精神世界を

表像してゐるといふよう。

両者が分かちがたく結びついて

いることを 辻と稲嶺の二人は

如何に表現してゐるのだろうか。



作品名：監々 鏡又

辻 晋堂 (明治43(1910)年 ~ 昭和56(1981)年)

目野郡溝口町(現伯耆町)二部に生れる

戦前は木彫を中心に制作、木の素材感を

生かしながらモチーフに鋭く迫る写実表現は

平林節、田中らの高い評価を得た

昭和33(1958年)には、第29回
ベネチアビエンナーレで国際的な
評価を受けた。



作品名 顔 (寒拾)



作品名 ホケット地平泉



作品名 雪中梅華図



土方 稻嶺 (寛保元(1741)年 ~ 文化四(1807)年)

藩の家老荒尾家の臣・土方弥右衛門の子として生

まれるも、生来、絵を好み、沈南嶺の画風を

慕って江戸へ出て末紫石(1715~86)へ画名を

大いに挙がり、北野天満宮境内には寛政7

(1795)年に稲嶺の門人たちが發起して建て

た稲嶺の竹園碑がある。